

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：2025年 6月 26日

事業所名：児童デイサービスU.P.T

サービス種類：児童発達支援・放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	●指定基準に基づいた機能訓練室当のスペースを確保している	はい…100% ※たくさん走って汗だくで帰ってきます	現状の活動スペースを維持し、利用児により良い空間を提供できるよう遊具の配置等を考えていきます
	2 職員の適切な配置	●指定基準に基づき職員を配置している	はい…100%	今後もルールに則った配置人数を維持します
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	●階段のない施設、段差のない造りであり、トイレには手すりを設置している	はい…100%	今後も現状を維持します
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	●清掃は毎日実施 ●登所時の手洗い実施の徹底	はい…100% ※帰宅時に子どもが自発的に手洗いをするようになった	今後も現状を維持できるよう努めます
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	●毎週スタッフ会議を行い、毎日登所前に確認をしている		今後も現状を維持します
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	●現在、実施なし		第三者による外部評価について検討します
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	●研修案内を職員に提示 ●研修受講後、職員に研修報告を実施		社内研修の実施、外部研修への参加機会を確保できるよう職員層に厚みをもたせるよう努めます
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	●担当者会議の実施、利用児の状況や保護者の意見を分析し、支援計画を作成している	はい…95% わからない…5% ※しっかり聞き取りしていただいています ※子どもの性格や課題も明確にして作成されています ※計画に基づいた支援をしている現状や今後の目標などのお話は毎度勉強になります ※活動のバリエーションが多く、毎回ノートを読むのが楽しみです	現状を維持し、継続していきます
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	●利用児の状況に応じて、個別支援と集団支援を合わせた個別支援計画を作成している		現状を維持し、継続していきます
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	●利用児にとって必要な項目設定を行い、支援内容を記載している		現状を維持し、継続していきます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	●計画の要点を全職員で共有しており、当日のメンバー、一人ひとりのコンディションを観察して活動内容を決定している	はい…95% わからない…5%	支援後、お迎え前のミーティング等にて意見を出し合い、常にサービス品質の向上を図ります
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	●ミーティング時に利用児の状況を把握したうえで、必要箇所が強化できるような活動の提示を行っている		現状を維持しつつ、継続していきます
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	●休日、長期休暇に特化したプログラム計画を立て実施している		現状を維持しつつ、継続していきます
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	●季節ごとのイベントを取り入れたり、目標設定に沿ったプログラムを取り入れたり、常に新鮮で楽しめる内容を心がけている	はい…100% ※クッキングなどU.P.Tの活動を自宅でも挑戦している	現状行っているプログラムを維持しつつ、アレンジや新しいプログラム追加など常に職員間で意見を出し合い更新していきます
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	●デイリーミーティングで確認		その時々で状況で適切な判断ができるよう管理し、コミュニケーションをとりながら利用児に応じた支援ができるように努めます
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	●基本的には当日、実施できなかった場合は翌日のミーティング時に実施している		現状を維持しつつ、さらに効率化が図れるよう、職員間での連絡、報告を徹底していきます
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	●支援の記録を利用児ごとに行っている ●検証課題がある場合は全員に共有している		現状のデイリーミーティングの内容を強化していきます
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	●日々の様子を伝えると共にモニタリングを実施したうえで、支援計画の見直しを行っている		現状の対応を維持することで、不安や悩みを気軽に相談できる関係づくりを心がけます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サービス担当者会議実施時には、児童発達支援管理責任者が参加している</li> <li>●後日内容を職員に周知している</li> </ul>		現状を維持し、継続していきます
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、該当利用児なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、該当利用児なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>●適宜実施している</li> </ul>		現状を維持し、継続していきます
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業後の進路先の事業所にスムーズに移行できるよう準備している(これまでに該当児童なし)</li> </ul>		必要に応じて事前に担当者会議を行い、切れ目のない支援を行っていきます
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●連携および研修会への参加をしている</li> </ul>		現状を維持し、研修会への参加および職員への研修報告を実施します
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会を創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>●活動の一環として、子ども食堂、近隣の公園、オープンカフェなどへのお出かけを実施している</li> </ul>	<p>はい…75%</p> <p>どちらともいえない…5%</p> <p>わからない…20%</p> <p>※外出日は特に楽しみにしています</p>	現状を維持しつつ、保護者へ活動内容やその目的を明確に伝えるよう努めます
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在、実施なし</li> </ul>		ニーズがあれば、実施を検討します
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>●体験、契約時に説明を行っている</li> <li>●利用開始後も随時質問に答えられるよう対応している</li> </ul>	はい…100%	今後も現状を維持します	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	●計画更新時に説明を行っている	はい…100%	今後も現状を維持します
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	●ペアレント・トレーニング支援は実施なし	はい…50% どちらともいえない…10% いいえ…15% わからない…25%	ニーズがあれば、実施を検討します
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	●利用日は毎回当日の活動内容や利用児の様子等を連絡ノートで連絡している。 ●送迎時、電話、LINEなどで気軽にコミュニケーションがとれるよう心がけている	はい…100% 連絡ノートに療育の内容、その目的なども書いてあり、イラストも活用されていてわかりやすい	今後も現状を維持します
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	●必要に応じて時間を作り対応している	はい…85% どちらともいえない…15% 電話やLINEでも相談や連絡できるので安心しています	今後も現状を維持します
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	●現在、実施なし	はい…10% どちらともいえない…15% いいえ…55% わからない…20%	ニーズがあれば、実施を検討します
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	●対応が必要な事案が出た場合は迅速に対応し、当日中に解決できるよう体制を整えている	はい…80% どちらともいえない…10% わからない…10%	即対応の体制を整えているが、起こらないように事前に利用児の状況把握に努めます
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	●必要・個々に応じた対応を行っている	はい…100%	今後も現状を維持します
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	●活動概要は連絡ノートに記入、行事、連絡事項は手紙の配布および説明を行っている	はい…90% どちらともいえない…10% ※電話が難しい時もあり、LINEが助かっています	連絡ノートやお知らせの配布等、現状を維持しつつ、新たなツールの情報収集も実施します
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	●個人情報記載の書類は鍵付きの書庫に保管している	はい…90% わからない…10%	現状を維持しつつ、より強固な管理体制を確保できるよう継続して行っています

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各マニュアルを整備している</li> <li>●研修機会を作り、周知、確認を実施している</li> </ul>	はい…75% わからない…25%	職員は常時閲覧可能 保護者に対してはHPへの掲載など適切な方法を検討します
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年間訓練計画を策定し定期的に訓練を実施している</li> </ul>	はい…95% わからない…5%	定期的な訓練実施を継続します
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●虐待防止委員会の設置・会議の実施</li> <li>●外部講習への参加および内容周知のための研修会の開催</li> </ul>		現状を維持することで、職員の意識向上に努めます
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>●契約時に保護者に説明および同意をいただいたうえで、計画書に記載している</li> </ul>		指針を作成し、研修にて職員に周知しています
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●該当利用児に対しては、保護者からの情報をもとにアレルギー対応の実施を徹底している</li> </ul>		現状を維持しつつ、平時から細やかな目配りを心がけます
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対応が必要な事案が出た場合には迅速に対応し、当日中に解決できるよう体制を整えている</li> <li>●ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有するようにしている</li> </ul>		現状を維持し、迅速な解決・丁寧な対応を心がけます